

## JX-ENEOSサンフラワーズがWリーグ9連覇達成

記者各位

当社(社長:杉森 務)の女子バスケットボール部「JX-ENEOSサンフラワーズ」は、3月8(水)・3月10日(金)・3月12日(日)に行われた第18回 Wリーグプレーオフ・ファイナルにおきまして、トヨタ自動車 アンテロースに3連勝し、9年連続、史上最多となる20回目(日本リーグ時代を含む)のWリーグ優勝を果たしましたので、お知らせいたします。

この優勝により、全日本総合バスケットボール選手権(皇后杯)との2冠制覇を4年連続で達成いたしました。

また、吉田 亜沙美選手が、プレーオフにおいて最も活躍した選手に贈られる「プレーオフMVP」を受賞しました。

皆様に多大なご声援をいただき、ありがとうございました。来シーズンもWリーグおよび全日本総合バスケットボール選手権大会との2冠制覇を目指してまいりますので、引き続き、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

### 【プレーオフ・ファイナルの試合結果】

第1戦	3月 8日(水)	JX-ENEOS	○	84-53	●	トヨタ自動車
第2戦	3月10日(金)	JX-ENEOS	○	74-63	●	トヨタ自動車
第3戦	3月12日(日)	JX-ENEOS	○	75-51	●	トヨタ自動車

### 【第18回Wリーグ 表彰者】

<アワード>

・プレーオフMVP	吉田 亜沙美 選手	(2年連続4回目)
・レギュラーシーズンMVP	渡嘉敷 来夢 選手	(3年連続4回目)
・コーチ・オブ・ザ・イヤー	トム・ホーバス	(初)
・ルーキー・オブ・ザ・イヤー	藤岡 麻菜美 選手	
・ベスト5	吉田 亜沙美 選手	(2年連続5回目)
	宮澤 夕貴 選手	(2年振り2回目)
	渡嘉敷 来夢 選手	(5年連続6回目)

< リーダーズ(個人成績ランキングトップ) >

・アシスト	吉田 亜沙美 選手	(2年連続4回目)
・ブロック・ショット	渡嘉敷 来夢 選手	(5年連続6回目)
・フィールドゴール成功率	渡嘉敷 来夢 選手	(3年連続4回目)

以上



